

## 2. 入学定員（募集人員）

学部	学科・課程等		入試形態	入学定員	募集人員							
					一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜	グローバル人材育成入試	帰国生徒選抜	社会人選抜	私費外国人留学生入試
					前期日程	後期日程						
教育学部	学校教育課程	小中一貫教育コース	小学校主免専攻	2/3型+面接入試 理系型+面接入試 小論文型+面接入試	120	20		15		若干人		
						10						
							10					
		中学校主免専攻	2/3型+面接入試 理系型+面接入試	10			7	8				
				10								
		教職実践基礎コース	2/3型+面接入試	5			5					
		発達支援教育コース	子ども理解専攻	2/3型+面接入試		7		3				
	特別支援教育専攻		2/3型+面接入試	7			3					
	小計			120	69	10	33	8				
医学部	医学科			100	45	15	40					若干人
	看護学科			60	35	5	20					
	小計			160	80	20	60					
工学部	工学科	応用物質化学プログラム		370	240	90		6	(10)	若干人	若干人	若干人
		土木環境工学プログラム					7					
		応用物理工学プログラム					5					
		電気電子工学プログラム					5					
		機械知能工学プログラム					8					
		情報通信工学プログラム					9					
小計			370	240	90		40					
農学部	植物生産環境科学科			52	28	14	10		(10)	若干人	若干人	若干人
	森林緑地環境科学科			52	28	14	7	3				
	応用生物科学科			57	33	11	13					
	海洋生物環境学科			33	18	11	2	2				
	畜産草地科学科			61	34	15	12					
	獣医学科			30	20	10						
	小計			285	161	75	44	5	(10)			
創地域資源学部	地域資源創成学科			90	55	15	20				若干人	若干人
	小計			90	55	15	20					
合計				1,025	605	210	157	53	(10)			

※ 農学部グローバル人材育成入試の募集人員10名は、農学部一般選抜（獣医学科を除く）の募集人員206名の中に含まれます。（備考）

1. 一般選抜の各募集人員には、帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生入試の募集人員（それぞれ若干人）を含みます。
2. 教育学部の一般選抜のうち、小中一貫教育コース中学校主免専攻、教職実践基礎コース及び発達支援教育コースについては前期日程のみで実施します。
3. 学校推薦型選抜の入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部、医学部看護学科及び農学部は前期日程、地域資源創成学部は後期日程の募集人員にその満たない人員を加えます。なお、教育学部学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻は、それぞれ【2/3型+面接入試】に加えます。医学部医学科地域枠A・B・Cは、募集人員を満たした別の推薦枠に満たない人員を加えます。それでも募集人員に満たない場合は、前期日程の募集人員にその満たない人員を加えます。
4. 総合型選抜の入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部は前期日程の中学校主免専攻【2/3型+面接入試】、工学部は後期日程、農学部は前期日程の募集人員にその満たない人数を加えます。
5. 農学部グローバル人材育成入試の入学者が募集人員に満たない場合は、一般選抜の募集人員にその満たない人数を加えます。

## ○教育学部学校教育課程小中一貫教育コースについて

教育学部学校教育課程小中一貫教育コースでは、入学後、一つの教科を専修とします。専修とすることのできる教科は、小学校主免専攻、中学校主免専攻ともに国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭及び英語です。さらに小学校主免専攻においては、技術も専修とすることができます。

中学校主免専攻においては技術を専修とすることはできませんが、他の教科を専修として技術の中学校教諭1種、あるいは2種免許を取得することが可能です。また、小学校主免専攻において、技術を専修として、技術の中学校教諭1種、あるいは2種免許を取得することが可能です。

なお、決定方法は次のとおりです。

小学校主免専攻：本人の希望を考慮した上で、入学後に決定します。

中学校主免専攻：出願時に選択した教科が専修となります。なお、出願時に選択した教科が合否判定に影響することはありません。

## ○工学部について

### 1. 一般選抜について

工学部工学科の一般選抜（前期・後期）では、出願時に全6プログラム（応用物質化学・土木環境工学・応用物理工学・電気電子工学・機械知能工学・情報通信工学）に対して、第1志望から順に最大第6志望まで選んで出願することができます。

合格判定は、工学部工学科の全受験者を大学入学共通テストと個別学力検査の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

各プログラムの目安定員は以下のとおりです。

学 科	プログラム (1年次：系)	前期日程		後期日程	
		募集人員	目安定員	募集人員	目安定員
工 学 科	応用物質化学プログラム (1年次：応用物質化学系)	240	42	90	17
	土木環境工学プログラム (1年次：土木環境工学系)		38		12
	応用物理工学プログラム (1年次：応用物理工学系)		38		15
	電気電子工学プログラム (1年次：電気電子工学系)		40		15
	機械知能工学プログラム (1年次：機械知能工学系)		41		13
	情報通信工学プログラム (1年次：情報通信工学系)		41		18

### 2. プログラム配属について

一般選抜、総合型選抜、私費外国人留学生入試における合格者は、入学時に合格したプログラムへ仮配属（系に配属）されます。

※入学時に、各プログラムとリンクする合格した「系」に配属（いわゆる仮配属）します。1年次は、希望する分野やその関連分野、異分野の学問体系や研究内容、就職先等について横断的に概観し、自分の本当にやりたいことの意識付けとキャリアデザインの初設計の期間に充てています。

1年次の授業で各プログラムについて理解を深め、2年次から各プログラムへ本配属されます。基本的には同じ系からプログラムへ本配属されますが、一般選抜、私費外国人留学生入試での合格者は1年次系内で成績が上位25%かつ受入定員（プログラム目安定員の10%程度）内であれば、2年進級前に、異なるプログラムを希望することも可能です。

※希望者数が受入定員を超過した場合には、工学部が定めた基準による成績順に、受入定員まで配属することとしています。

※総合型選抜での合格者は、異なるプログラムへ希望することはできませんので、注意してください。

[工学部に関するお問い合わせ先]  
宮崎大学工学部教務・学生支援係  
TEL 0985-58-2874